安倍川河川敷のトイレを水洗化に　河川事務所に要請（9/4、10/8）

国土交通省出身の西園議員の事務所を訪ね、安倍川河川敷グランドに設置されているタンク式トイレについて、国土交通省の事務連絡に基づき、水洗トイレを推奨するとともに、10年ごとの設置許可の際に静岡市へ周知できないか相談しました。安倍川に設置されているタンク式トイレは、夏場は臭いが強く、利用するのが大変です。10月8日には、他の河川のように水洗トイレへ移行するよう静岡河川事務所に要請し、水洗化を推奨していることをトイレ設置者である静岡市に周知する旨の回答をいただきました。

人権平和講座「共に生きる社会を開く、排外主義に抗するために」（9/26）

講師の中京大学教授、三浦綾希子さんから、「日本における排外主義の攻撃対象は在日朝鮮人から始まったこと」、「日本に住む外国人が増えると治安が乱れると思う人が2025年調査で73.1%に上るが、実際には治安は悪化していないこと」、「日本人ファーストの裏には外国人を2級市民とみなす意識があること」、「日本では差別が禁止されていないが諸外国では犯罪とされる場合があること」、「外国人との日常的交流が大切であり、外国人割合が15%を超える地域では外国人との接触が多く参政党の得票率が下がる傾向があること」などの話を聞くことができました。

院内集会「あまりニュースにならないけれど重要な政治論点」（7/30）

今回の衆議院選挙でも指摘される小選挙区制の弊害、欧州では比例代表制が主流であること、ソーシャルメディアがリベラルデモクラシーを劣化させている現状、インターネットによってフェイクニュースが正しい情報より早く拡散し、ゲートキーパーが不在となっていること、ポピュリスト政治家がリベラリストを攻撃し少数派の権利を奪っていること、大声で断定的に主張するほど立派な意見に見えてしまう構造など、SNSと政治の関係について多角的な話を聞くことができました。私からは、先進国で子どものSNS利用規制が進む一方、日本ではGIGAスクール構想が進んでいることについて意見を求めたところ、講師からはビル・ゲイツの実践を引用し「SNSに詳しい人ほど子どもの利用を制限している」との回答があり、示唆に富む内容でした。

杉山あつし　プロフィール

1962年　10月31日生（静岡市南町）
　　静岡学園幼稚園、富士見小学校、高松中学校
1981年　静岡東高校卒業（16期生）
　　静岡県職員に採用（福祉･税務に従事）
　　財務事務所、中部民生、こども家庭相談センター
2012年　県を退職 静岡県職員組合専従役員
2019年　県議会議員選挙（駿河区）で初当選
2023年　2期目当選
会派「ふじのくに県民クラブ」
静岡東高校後援会 会長・副会長（23～24年）
静岡手をつなぐ育成の会評議員（09～16年）
富士見小学校 PTA副会長（09～19年･9期）
登呂ソフト・高松中野球部父母会会長（1期毎）
週6日 ごみ拾いを兼ねた地域パトロール

家族：妻、長男、長女、保護猫 7匹 血液型：O

編集後記

猫譲渡会の事前宣伝などに協力しています。愛護団体の方から、駐車場が広く、安価で借りられる会場探しについての相談がありました。行政機関につなげ対応していきます。

11月21日（土）に不用品の持込み、持ち帰りでゴミ減量を実践している「第10回もったいない市」が、リバティリゾート久能山で開催されます。ボランティアで協力していきます。

杉山あつし事務所／自宅
静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
電話 090-1279-1443　FAX 054-282-0143

日中は主として県庁内議員控室で活動しています。

誰も置き去りにしない社会へ

杉山あつし だより

県政へのご意見をお寄せください

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）　静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
第30号（2026年10月30日発行）　電話 090-1279-1443　FAX 054-282-0143

静岡県議会 9月定例会が閉会

10月15日、県議会9月定例会が閉会しました。今定例会では、リニア中央新幹線に関する質疑はほとんどなく、県財政が苦しい中での要望対応の不誠実な点を改めるべきとの指摘や、熊本地震のような真夏など厳しい季節を想定した地震防災の対応、浜岡原発の基準地震動偽装に対する県の対応などの質問がありました。

災害は季節を選ばない ～防災対策の強化を

7月28日に発生した熊本地震では、災害は季節を選ばないということを改めて痛感しました。猛暑の中、さらに停電が重なる避難生活は、被災された方々にとって大変過酷なものです。今回の災害を通じて、身近な場所で電力を確保できる太陽光発電と蓄電池の設置促進や、避難所となる学校体育館などへの空調設備の整備をはじめ、多くの課題が浮き彫りになりました。いつ、どのような状況で災害が発生しても、県民の命と健康を守れるよう、実効性のある防災対策が急務です。

議会の透明性とチェック機能の強化を

福岡県議会の議長就任をめぐる現金受渡しや豪華な海外視察について、たびたび質問を受けています。議長・副議長就任パーティーでの利益で、負担を解消していることが考えられること、静岡県議会では考えられない経費をかけた海外視察であることを説明しています。一方、静岡県でも現金受渡しは聞きませんが、経済界等各種団体に働きかけた就任パーティーは行われており、自民会派による議長・副議長の独占を改め、第2会派に副議長を譲ることでチェック機能を高める必要性を感じています。

2期目の任期が6カ月を切りました

県議会開催の都度、杉山あつしだより（県政報告）を発行し、今回で30号となりました。

県民の暮らしを守り、県政への信頼を高めるため、引き続き、現場の声を県政に届けるとともに、透明性のある議会運営と県民目線の県政を求めてまいります。

注目した 本会議質問

ギャンブル依存症への取組、真夏を想定した避難生活を送る訓練、遺贈寄付の推進、県立高校体育館の空調整備の質問に注目しました。災害は季節を選んでくれません。真夏に発生した熊本地震から学ぶことが多いことがわかりました。避難所となる体育館の空調整備が遅れていることは大きな課題です。

本会議初日 議場（9/18）

厚生委員会質疑（10/6）

今定例会では、医療や福祉の現場が抱える課題について質問しました。

● 静岡市立清水病院の指定管理者制度への移行計画について

病院単独の経営問題にとどまらず、１次医療圏・２次医療圏の医療提供体制にどのような影響を及ぼすのか、地域医療全体の視点から検討する必要があると考えます。市民の命と健康を守るため、地域の医療機関との連携や、将来にわたる医療提供体制の確保が重要です。

● HPVワクチン接種にともなう情報提供、へき地の医療体制の維持と充実について

県のホームページにおいて、接種の意義だけでなく、副反応が生じる可能性や接種後の相談先などについても、分かりやすく丁寧に情報提供するよう求めました。県民が十分な情報を得たうえで、納得して接種を判断できる環境を整えることが大切です。さらに、医療資源の確保が難しいへき地における医療提供体制の維持・充実についても取り上げました。

● 児童相談所について

職員の増員が進む中で、職員が安心して働き、適切な支援を行えるよう、執務環境の改善を求めました。また、子どもの移送中に必要となる食事代について、子どもや保護者の負担とならないよう、自己負担の解消を求めました。

この他、がんセンターの陽子線治療装置の更新について質問したところ、更新費用に約180億円を要することなど、さまざまな課題があるとの回答がありました。

医療や福祉の制度は、県民の暮らしに直結するものです。制度を整えるだけでなく、現場で生じている課題を把握し、誰もが必要な医療や支援を受けられる体制づくりを求めてまいります。

厚生委員会（10/6）

常葉大学法学部の皆さん

大学生と県議会議員の意見交換会

常葉大学法学部の３･４年生と観光について議論し、「富士山の魅力をもっと生かすべき、フォトスポットを増やしてほしい」「海からの富士山、体験型の富士山に魅力を持たせてほしい」「箱根や富士五湖に負けないよう発信力を高めてほしい」などの意見を聞くことができました。

高校生平和大使 鈴木県知事、前澤教育長への表敬訪問（7/27）

高校生平和大使による知事、教育長への表敬訪問に同行。３人の高校生から平和や核兵器廃絶への思いをしっかりと伝えることができました。その後、県庁別館展望ルームで開催中の原爆展を高校生らとともに見学しました。

高校生平和大使　知事表敬訪問

厚生委員会 県内視察（7/22）

● 国立遺伝学研究所

戦前は中島飛行機工場だった跡地に1949年設立された施設で、ゲノム解析やゼブラフィッシュを活用した研究について説明を受けました。

● 静岡県感染症管理センター

感染症対策の研修などを行う施設です。通常時は県庁近くに設置すべきではないかと感じました。

● 順天堂大学付属静岡病院

ドクターヘリの2025年出動回数は1029件で全国１位、救急搬送の応諾率99.9%を誇る県東部の救急医療拠点です。診療報酬の厳しさや高額医療機器更新による財政負担への支援要望を伺い、待機中のドクターヘリ内部も見学しました。

順天堂大学静岡病院ヘリポート

STOP気候危機 全国庁舎前アクション（9/25）

気候危機自治体議員の会・9.25全国庁舎前アクションに、静岡市役所前会場での行動に参加しました。

静岡市役所葵区役所前

米海兵隊沖縄県道104号線越え 実弾砲撃演習の代替分散実施反対･抗議行動（9/12）

集会では静岡県議会が2020年３月に日米地位協定の抜本的改正を求める意見書を採択したこと、沖縄で米兵による女性への犯罪が多い背景として海兵隊が紛争地域へ向かう前の最終訓練を沖縄で行っていること、さらに６月定例会で1960年代に締結された「東富士演習場周辺にミサイルなど危険兵器を配備しない協定」に反する高速滑空弾の小山町駐屯地配備について質問したことを報告しました。

「さようなら原発全国集会 」ミニステージに参加（9/23）

原子力資料情報室からの報告によると、「世界では原発コストの上昇により原発回帰は進んでいないこと」、「温排水を川から取水しているフランスなど欧州の原発では、この夏の水温上昇で原発停止に追い込まれたこと」、「濃縮ウランの輸出国は１位フランス、２位ロシア、３位オランダで、ロシアはウクライナ紛争で減少しているものの依然依存度が高いこと」、「原発は電力会社にとってリスク資産であり、新設には１兆円以上かかり国の支援なしでは困難で、電力会社もリスクが高すぎて（本音では）建設したくないこと」など、多角的な話を聞くことができました。